

20歳 (はたち) の挑戦、新潟～千葉445.2キロ、チャリの旅

07K031 北村 知巳

自分の誕生日は10月17日である。人間にとって誕生日というのは特別な日である。とくに20歳というのは社会的に大人と呼ばれる年齢であり、学生でなければ税金の納税や選挙権や、飲酒や喫煙も可能となり、大人として社会から見られる。だから自分は、何か一生の思い出になるようなことがしたかった。自分が大好きなのは自転車と、新潟のサッカーチーム、アルビレックスの応援である。誕生日の翌日には千葉のフクダ電子アリーナでアルビの試合がある。そこで千葉県まで、サッカーの試合の応援に自転車で行くことに決めた。その記録と、自分の考えを書いていこうと思う。日程と走行距離は以下の通りである。

- 2008年10月13日(月) オレの家～六日町駅
走行時間：7時間11分
走行距離：124.7キロ、アベレージ → 17.3キロ、(MAX→48.7キロ)
通った道路：国道8号線 → 県道289号線 → 県道290号線 → 県道252号線 → 国道17号線
- 10月14日(火) 六日町駅～セブンイレブン高崎問屋町店駐車場
走行時間：8時間15分
走行距離：116.5キロ、アベレージ → 14.1キロ、(MAX→70.2キロ)
通った道路：国道17号線
- 10月15日(水) セブンイレブン高崎問屋町店駐車場～埼玉スタジアム2002
走行時間：7時間17分
走行距離：109.6キロ、アベレージ → 15キロ、(MAX→38.5キロ)
通った道路：国道17号線 → 県道214号線
- 10月16日(木) 埼玉スタジアム2002～市川市の友人の家
走行時間：3時間26分
走行距離：44.8キロ、アベレージ → 13キロ、(MAX → 38.8キロ)
通った道路：県道324号線 → 国道4号線 → 県道318号線 → 国道14号線
- 10月17日(金) 20歳の誕生日のためOFF、東京巡り、
- 10月18日(土) 市川市の友人の家～フクダ電子アリーナ(ゴール)～姉の家(東京)
走行時間：3時間9分
走行距離：49.4キロ、アベレージ → 15.6キロ、(MAX→45.5キロ)
通った道路：国道14号線
- 10月19日(日) 姉の家～新潟駅(夜行電車で)。

全走行時間：29時間18分

全走行距離：445.2キロメートル

結果をおおまかに書くと上記のとおりである。走行時間は休憩時間や信号待ちなどの時間は含まれていないため、実際はもう少し多いものとなる。

旅の記録 (日記より)

○1日目 (10月13日) 雨のち曇り オレの家～六日町駅

朝起きて感じた、今日が運命の日なのだ。9:40分、自宅発、親にバレてしまうも、そのまま、家を飛び出してしまった。新潟の街を通りまっすぐ8号線を下る。思えば今日一番元気だった時だ。三条まで来ると道が分からなくなり、少し走っては地図を見るの繰り返し、そうとう時間を無駄にってしまった。とりあえず17号に出たから、しばらく問題はなさそうだ。今日一番つらかったのはなんだろう。人面峠か？ はたまた夜の寒さか？ いろいろあるが、やっぱり一人だということだ。去年みたいに隣に一緒に走った友はいない。頼る人間がないというのが、一番つらい。すべてが自己責任、信じられるのは自分だけということ。あつという間だったが、1日目が終わってしまった。筋肉痛もない。明日は三国峠だ。午後から雨が降るらしい。早めに出て午前勝負かな。何でオレこんなにやる気なんだろう。きっとそれは千葉でみんなが待っていてくれるからかなあ。

いつも肝心な所でミスするオレだから気を引き締めていくぞー。おやすみ…

(@六日町駅の中、PM10:07、TOMOMI 記)

○2日目 (10月14日) 曇りのち小雨 六日町駅～セブンイレブン高崎問屋町店駐車場

今日は雨が降るから早く出ないと、と前日から考えていたのに寝坊した。9:30分、六日町駅発。昨日よりも走行時間と走行距離のバランスが遅すぎるのは、やはり三国峠のせいだろう。午前中には登れると思っていたけれど、頂上に着いたのは午後の2時前だった。1,000mの標高は本当にすごい。登っても、登っても坂道が続く。20キロほどずっと登りが続くのだから、疲れるのは当たり前だが、本当に凄かった。自分でもよく登ったと思う。何回新潟に帰りたいと思ったことか…。

その後の下りは最高、何もこがなくても40キロ、ありえねー。MAX70.2キロもそのときのスピードだ。三国峠を下り、沼田、渋川ときたところで辺りは真っ暗、日の沈みが早い。しかし明日までに埼玉スタジアム2002、以下、埼玉スタ)に着かなきゃ。だから、そこから前橋、高崎とさっきまでの間に、長い休憩をとりながら走ってきた。もうすぐ埼玉、そして今日もお金ないから野宿生活。明日雨降らなきゃいいなあー。足もそうとうきつくなってきているからしっかり休もう…。ってこの場所では無理、寒すぎ、眠れるかな？ 今日もたくさんの人から応援メールもらった。ありがとう。おやすみ。

(@セブンイレブン高崎問屋町店前、PM11:41、TOMOMI 記)

○3日目 (10月15日) 晴れ セブンイレブン高崎問屋町店駐車場～埼玉スタジアム2002

今日は朝から早く起きて埼玉スタに着く予定だったが、全体的にすごくゆったりとマイペースになってしまった。群馬県からすぐに埼玉県に入って、すごいスピードで飛ばしていたが、その後に問題が起こった。それは道(国道17号線)なりに熊谷バイパスがあって、知らずに入ってしまったのだ。もちろん自転車が通れる道ではない。地図を見ても、普通の道路みたいに書いてあったし、最初のうちは知らずに入ったものの、普通のバイパスでものすごく怖かった(新潟でいう新新バイパスみたいなもので)。その熊谷バイパス、歩道もあつたりなかったり、しかもデコボコで、チャリのタイヤパンクしそうだし、足の疲労もかなりきてた中で、歩道が線路のせいで何回も切れて、立橋を登るか、他の道へ行くかをせまられる。

そんな中で、さいたま市に入ると地図がさらに分からなくなって、とりあえず大宮駅に行ってみた。それが大正解。あとは214号に入って東北自動車道のすぐ後に埼玉スタ発見。そしてサッカー日本代表の試合を応援して今に至る。ちなみに今夜は明けているが、これは15日の分の日記である。

(@埼玉スタ前、ファミリーマート AM1:30、TOMOMI 記)

○4日目(10月16日) 晴れ 埼玉スタジアム2002～市川市の友人の家

埼玉スタジアムまで来てしまったということもあって、今日は千葉の友人の家まで距離がないので、昼まで寝てしまった。本当にあまり距離がないから、ゆっくりと旅を進めた。なんか埼玉まで来ると、隣の県が近いから東京、千葉と都や県が変わっても実感があまりわいてこなかった。なんかやっとうして、友人の家ではあるけど、家の中でまったりできると考えるだけでもすごくうれしい。旅に出てから初めて風呂にも入った。こんな当たり前のことが幸せに感じる。それはこんな旅でもしなければ感じないことだ。

こんな生活の一人旅もうすぐ20歳、きっとオレは強くなれる。目的地、フクアリ(フクダ電子アリーナ)まであと30キロくらい。明日は誕生日だからOFFでゆっくり千葉観光でもしよう。あと30分ほどで20歳、いい社会人になるぞー。

(@千葉県市川市、友人の家 PM11:16, TOMOMI 記)

○5日目(10月17日) 晴れ OFF、千葉、東京観光。

今日は20歳の誕生日だ。姉ちゃんに昼をおごってもらう予定だったけれど、何となく千葉観光がしなかったので変更。友人の住んでいる南流山駅まで行って、その後、Jリーグのチームの柏レイソルの練習を観に友人の車で日立台(日立柏サッカー場)へ。それから、午後はその友人と一緒に、アルビの選手待ちに東京駅へ。たしか5時30分のMAXトキで登場。選手たちに「お前ら勝てよ。」って一言、普段からバカみたいに熱いサポーターのためか、答えてくれた選手は一人。あはは。

その後、市川市に帰ってきて、友人と買い物して、そくせきで明日の為の段幕作って、超こっぴりラーメン屋に行って、そして気付いたらもうこんな時間に。

明日はフクアリだ。のこり30キロがんばろう。ちなみに今夜は明けているが、これは17日の分の日記である。

(@千葉県市川市、友人の家、AM0:20, TOMOMI 記)

○6日目(10月18日) 晴れのち曇り 市川市の友人の家～フクダ電子アリーナ(ゴール)～姉の家(東京)

ついに試合当日、泊めてくれた友人も、オレの気合が伝わったのか、チャリでフクアリまでついてきてくれることになった。14号をずっと走って、30キロほどの道のり、しかし、途中で大切な地図を落としてしまった。少し引き返してみたものの見つからず、そのままフクアリへ…。11時前くらいについにフクアリが見えた。新潟から、目指していたゴール。これを目標にしていたので、ゴールしたときは泣いてしまった。自分一人で達成したゴールだ。そしてサポーター(応援)グループの仲間や多くのサポーター仲間の人たちが、オレの誕生日パーティーで、現地で鍋をやってくれた。とてもおいしかった。この味は一生忘れないよ。そして試合後は、フクアリの近くの、稲尾駅前のコンビニでチャリを解体して、電車で東京の三鷹にある姉ちゃん家まで電車で…。

そして今は姉ちゃん家でまったり過ごしている。明日の夜行電車にチャリを積んで新潟に帰ろう。ちなみに今夜は明けているが、これは18日の分の日記である。

(@東京の姉の家、AM1:10, TOMOMI 記)

以上がチャリの旅の日記である。

自分がこの旅で学んだことや伝えたいことは多々あるが、全部書くと物凄い量になるので、大切なことを2つだけ。

はじめに、人間は趣味でも好きなことでも、何か目標を立ててそれにチャレンジすることがすばらしい

ということ、それは試験勉強や就職活動などすべてのことにいえると思うが、たとえ失敗したとしたり、チャレンジしたという過程がきっと大事なものであると思う。だから成功したときの喜びというのは、その経験した人にしか味わえない。それが今回千葉まで行くという結果としてついてきてくれた。だから、人間まず何かに向かって挑戦すること、何でもいいから自分の趣味を見つけることが大切だと思う。そういった意味では自分はアルビを応援することで、サッカーだけでなく多くのサポーター仲間、しかもほんと子供から年配までの幅広い年代の仲間もできたし、趣味というのは大切なものだと思う。

それから、旅をするということ。自分は3月～12月の間は、趣味でサッカー観戦に2週間に1回くらいの割合で色々なチームのホームタウン（県外）を全国飛び回っているけれど、地元を離れて、遠くの町へ行くというのはとてもいいことだと思うし、人間として成長すると思う。

とくにできれば一人で旅に出てほしい。それは、自分もよく県外に行くと言ってもそれは大人数の仲間と行くのであって、今回の旅みたいに一人ではないからである。一人で旅に行くということは道や駅が分からなければ、自分で調べたり全然知らない人に聞いたり、何事も自己責任で行動しなければならない（頼る人がいない）からである。

しかし一人で行くということは、いいこともある。自分の思った通りに行動できること、それは友達や時間に縛られることもないし、自分勝手に予定を決められるし、気が変わればどこでも行ける、そして一人旅の一番いい所は、知らない人とコミュニケーションがとれることだ。自分は今回の旅で、千葉の駅まで行く帰り道でぶっ倒れて起きられなくなっているおじいちゃんを助けたり、群馬の食堂で会った店のおばちゃんや、六日町駅で夜寒い中寝たオレを見つけて、バカ話に付き合ってくれた警察官をはじめ、とても多くの数えられないほどの知らない人と出会うことができた。今回自分はチャリで長旅をしたから多くの人とコミュニケーションを取れたのかもしれないけど、きっと一人旅をすれば、友達などと旅行に行くよりも絶対いろんな人と話ができると思うし、人間的に成長すると思う。

そんなこんなで迎えた20歳の誕生日であったけど、こういう経験をできたことで自分は絶対他の同年代の人より精神的にも肉体的にも強い人間になれたと思う。今回のチャリの旅で大学の講義をまるまる一週間休んでしまったけれど、それ以上の経験ができたと感じるし、本当の意味で「学校では教えてくれない」何かを学んできたような気がした。

これからは、20歳の立派な新潟男児としての自覚をもっていい大人になり、社会に貢献していきたいと思う。

(レポート指導教員 加納実紀代)